

# 雪の蒜山で遊ぼう

## ひるぜん雪恋まつり



来場者が作ったミニかまくらにキャンドルがともる



雪を楽しむ親子



子どもたちに大人気のソリ



巨大かまくらで記念写真

# ぐるっと まにわ 真庭

2月2日と3日の2日間、ひるぜん雪恋まつりが開催されました。今年も蒜山の魅力のひとつである雪を満喫してもらおうと秋田県横手市のかまくら職人直伝の巨大かまくらが5基用意されたほか、雪の中の宝探しゲームやスノーシュー体験などの多彩な催しが会場を盛り上げました。また、夕暮れ時からは、来場者が日中に作ったミニかまくらにキャンドルがともされ、会場周辺は幻想的な雰囲気になりました。

## チームワークで勝利を 第11回真庭市綱引き大会

2月3日、勝山スポーツセンターで第11回真庭市綱引き大会が開かれました。市民の基礎体力向上と、メンバー・参加者の親睦を深めることを目的に、平成21年に初開催された大会で、市内外から一般の部6チーム、小学生の部12チームの参加があり、予選リーグ、決勝トーナメントと熱戦が繰り広げられました。参加者は、試合後に相手選手と手を合わせ分かれる爽やかなルールで、選手間の親睦を深めていました。



敵味方関係なく声援が送られた小学生の部決勝戦



ぶりの市の始まりを告げる恒例の「ぶり市許可状伝達式」

## 300年以上の歴史と伝統 北房ぶり市

300年以上の歴史を持つ北房ぶり市が2月3日に皆部商店街で開かれました。会場のメインステージでは、恒例のぶり市許可状伝達式、備中かぐら太鼓、備中神楽などが行われ、歩行者天国となった商店街には、ブリをさばいて売るぶり小屋をはじめとするとさまざまな露天のほか、街角ライブや寄席などの会場も設けられました。会場を訪れた人たちは賑やかな商店街で冬のひとときを楽しんでいました。

1/21 「前向きに生きる」で百歳

花森賢一さん(上中津井)が1月24日に百歳を迎えられました。95歳まで現役で仕事をされ、99歳まで自動車の運転もしていたそうです。長寿の秘訣は「前向きに生きる」ことと教えてくれました。



1/22 「今が最高」家族に感謝

小柳玉子さん(目木)が1月20日に百歳を迎えられました。家族とお茶を楽しむことや、熱い一番風呂が好きなのだそうです。「今が最高」と家族に感謝し、体を動かして楽しく過ごしています。



2/9 親子で料理教室

勝山文化センターで勝山わくわくクラブが料理教室を開催。クラブの児童と保護者が栄養改善協議会勝山支部のスタッフに教わって7品を作りました。児童が懸命に取り組む姿を保護者は暖かく見守っていました。



2/15 穏やかな日常を大切に

中島政子さん(日野上)が2月11日に百歳を迎えられました。長寿の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べ、穏やかに過ごすことです。普段は新聞を読んだり、ひ孫と遊んだりしながら過ごされています。



2/16 コーヒーで心豊かに

真庭あぐりガーデン敷地内の富岡珈琲で、豆の焙煎から淹れ方まで体験するワークショップが行われました。参加者はオーナーの富岡さんに習いながら煎り具合で味が変わるコーヒーの魅力を楽しんでいました。



今年一年の健康を願って火渡りする参加者

健康祈願し福を授かる  
普門寺 節分会柴燈護摩供

2月10日、田原山上の普門寺で節分会柴燈護摩供が行われ、参拝者の除災開運や無病息災が祈願されました。山伏の衣装を着た僧侶や寺の総代たちが境内を練り歩いた後、護摩木が護摩壇の火にくべられました。その灰をならし、白い煙が立ち昇る灰の上を裸足で歩く火渡りの儀式が行われ、参拝者は今年一年の健康を祈願していました。儀式の後は賑やかに豆まきが行われ、豆やお菓子を拾い福を授かっていました。



本格的な照明の中、歌声と演奏で観客を魅了

音楽とダンスの祭典  
エスパスファンスペースフェスティバル

2月17日、久世エスパスホールでエスパスファンスペースフェスティバル♪音楽とダンスの祭典♪が開かれました。このイベントは真庭市民を中心に幅広い年代での交流を図ろうと毎年開かれています。この日は市内外で活動するグループなどがロックやジャズ、ポップスなどの演奏とダンスを披露したほか、エスパス土広場では飲食のブースも設けられ、訪れたさまざまな年齢の人たちが、それぞれに盛り上がっていました。